



# L型 レース用ディスビ&フルトラ kit



※スピンドルギヤは、S57年以降のL型用  
(純正品番15040-P8000)をご使用ください。



約5000台の販売実績をもつ亀有レース用ディスビがこの度、鑄造型を始め全ての機械的内部パーツに対し耐久性と超高回転をコンセプトに大幅な設計変更を施しました。高性能を語るに相応しい軸受け部には許容回転24,000rpm対応のボールベアリングを上下ダブルで採用！更にシャフトには削り出しによる一体ものを回転軸部に使用しシャフトの振れをわずか2/100以内に抑えました。また、ピックアップセンサー部は一般的なマグネットセンサーと比べてハイスピードピックアップが可能な赤外線センサーを採用し、高回転時の点火時期の遅角を抑え低速から高速回転に至る全域にわたり、安定した火花供給を約束します。



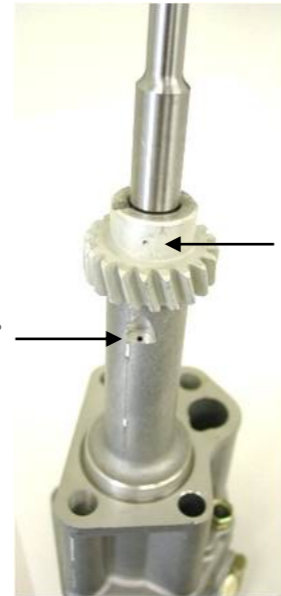
## 推奨点火強化パーツ

- ・イグニッションコイル
- ・プラグコード
- ・プラグ
- ・M. D. I
- クロームコイル
- ウルトラプラグコード(亀有仕様)
- DENSOイリジウムプラグ
- 永井電子M. D. I

## 【 スピンドルギヤ交換 】

1. No.1シリンダーを圧縮上死点にする。

- ・クランクプーリの点火時期の印をインジケータの0度の所でとめる。
- ・この時 No. 6シリンダーがオーバーラップになっているか、又は、純正ディスビのローターがディスクキャップの#1を向いているか確認。違っている場合はエンジンをあと1回転させて上記の状態にする。



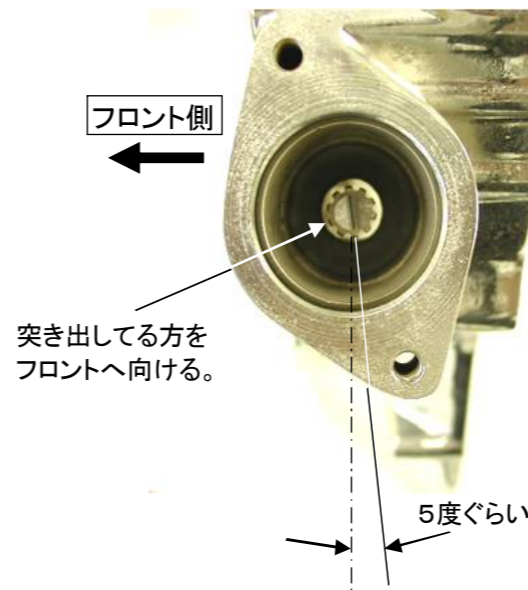
2. No.1シリンダーの圧縮上死点がでたら、純正ディスビ及びオイルポンプを取り外し、スピンドルギヤを差し替える。  
(純正ディスビは台座ごと取り外す。)

3. スピンドルギヤを図の通りに油穴とギヤの合いマークを合わせる。

4. マークが合ったらオイルポンプとスピンドルギヤを同時に挿入する。

5. オイルポンプを挿入したら、スピンドルギヤの角度を確認。  
(角度を図のとおりにする)

ディスビ側から見た図



この取付け角度が重要！  
違っていたら再度スピンドルギヤを入れ直し。

## 【 販売元 】

〒340-0808  
埼玉県八潮市緑町3-1-16  
株式会社 亀有エンジンワークス  
TEL048-998-2323 FAX048-997-9085